

## 部活動再開に向けての感染予防ガイドライン

京華女子中学・高等学校

このガイドラインは、今後、部活動を再開するにあたり、準備から解散までの間で行っていく感染予防策についてまとめたものです。全ての部活動において、顧問・部員はこのガイドラインに則り、「新しい部活動の在り方」を実践し、感染予防を徹底していくことが重要です。（さらに独自のガイドラインも作成しているクラブもあります）

なお、このガイドラインは、部活再開日～8月23日までのものとします。それ以降については再度検討します。

### <基本的な感染防止対策>

- ① 手洗いや咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底する。
- ② 発熱症状や風邪症状がみられる生徒については、活動を見合わせ、自宅休養とする。
- ③ 休日の活動の際には、自宅で検温を行い参加の判断をする。
- ④ 参加に関しては、生徒と保護者の意向を尊重し、参加の強制はしない。

### <部室・更衣室等の利用について>

- ① 教室内での水分補給は認めるが、部室・更衣室内での飲食は禁止とする。
- ② 部室・更衣室の使用は、更衣および部活動の準備の為の使用に限定し、長時間の滞在は認めない。
- ③ 更衣に関しては短時間とし、人数が多い部活に関しては密集を避けるため時間差をつけて更衣する。
- ④ 部活動後、更衣を済ませた後に、顧問の指示で更衣をした場所（教室・部室・更衣室等）の消毒を行う。
- ⑤ 貴重品の管理を徹底する。（鍵やロッカーの管理の徹底、貴重品を現場に持っていく等）

### <部活動前の対応について>

- ① 練習前に手洗い、うがいを行う。
- ② 活動前に顧問からの健康観察を受け、体調の悪い生徒は活動させない。
- ③ ペアで行うストレッチやマッサージなど、身体接触が予想されるものは行わない。
- ④ 飲料用ボトルやタオル、ビブスなどの共有はしない。
- ⑤ 用具や器具等の消毒をできるかぎり徹底する。
- ⑥ 集合やミーティングに関しては、密集しないようお互いに距離を保ち、間隔をあけるなど工夫する。

### <部活中の対応について>

- ① 部活動の時間は、準備から解散までを含めて、7月の平常授業中の部活動は1時間半まで、土曜日は2時間まで、休日（生徒が登校しない日も含む）、夏休み中は3時間までとする。熱中症等の対策も行いながら、無理のない時間で活動すること。完全下校時間は18:00とする。また、朝練習、自主練習は禁止とする。
- ② 身体接触が予想される活動や近距離で発声したりする活動については行わない。当面の間、距離を取って行うことができる活動に変更するなど工夫する。
- ③ 屋内において多数の生徒が集まり呼気が激しくなるような運動や大声を出すような活動等は絶対に避ける。
- ④ 飲食を伴う部活動は衛生管理を徹底し、対面での飲食を避ける。
- ⑤ 活動場所の換気をこまめに行う。
- ⑥ 試合等における発声はできる限り行わない。生徒・保護者の応援に関しても同様であり、観戦の際はお互いの間隔をあけ、マスク着用などの工夫をする。なお、当面は、本校での対外試合等は認めない。

※試合や大会の際は、高体連や中体連等の所属団体の基準に従うこと。

<大きな発声、歌唱、演奏を行う部活動について>

- ① 合唱や演劇等の発声は息を大量に使用することから、感染の可能性が通常時より高い活動と認識し、活動する際は慎重に判断すること。密集をできるだけ避け、離れた場所でパート別に練習を行う等工夫する。
- ② 管楽器においては、吹いているときにできる水分をガーゼやスワブで拭き取ったり、溜まったものを雑巾等にまとめて出したりするが、その時に感染の可能性が高くなることが予想されるので、活動を始める場合は十分対策を行う。
- ③ 木管楽器のリード等、直接口の中に入れたり触れたりするものは、個々のリードケースや楽器ケースに必ず保管させ、他の人が触ることのないよう注意する。(消耗して捨てる場合は、袋に入れて家に持ち帰らせるか、顧問が集めて処分をする等の配慮をする。)
- ④ 直接口につける管楽器のマウスピースは、絶対に他の人と共用することのないようにする。また、マウスピースが他の人と接触することのないよう、楽器の置き方、練習後の洗い方、片づけ方も十分留意する。

<部活動後の対応について>

- ① 顧問による健康チェックを行う。
- ② 部活動後も手洗い、うがいを徹底する。
- ③ 部活前と同様ペアで行うストレッチやマッサージなど、身体接触が予想されるものは行わない。
- ④ 部員が使用した場所(更衣した場所も含む)、用具や器具等の消毒をできるかぎり徹底する。
- ⑤ 更衣に関しては、教室や部室等の使用方法を遵守する。(三密を避ける)

※上記以外で、感染防止の観点から判断が難しい場合には、校長と顧問が相談の上、判断する。